

# 特定行為研修の研修内容等に関する意見 概要①

医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会（平成30年12月14日）

医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修分科会では、本制度の施行状況の評価等を踏まえ、特定行為研修の研修内容等について審議を行い、平成30年12月に以下の通り意見を取りまとめた。

## 特定行為研修における特定行為の領域別のパッケージ化について

### ■ 特定行為区分について

在宅・慢性期領域、外科術後病棟管理領域、術中麻酔管理領域において、それぞれ実施頻度が高い特定行為をパッケージ化し研修することを可能とする。

### ■ パッケージ化する特定行為について

各領域においてパッケージ化する特定行為区分及び特定行為については別表の通りとする。

### ■ 特定行為研修の内容及び時間数について

共通科目及び区分別科目の研修内容について、科目横断的に学ぶことによる研修内容の精錬化を図り、各科目の内容及び時間数を変更する。

#### 【共通科目】

科目	改正前 時間数	改定案 時間数
1 臨床病態生理学	45	30
2 臨床推論	45	45
3 フィジカルアセスメント	45	45
4 臨床薬理学	45	45
5 疾病・臨床病態概論	60	40
6 医療安全学	30	45
7 特定行為実践	45	
合計時間（共通科目）	315時間 (100%)	<b>250時間 (79%)</b>

#### 【区分別科目：在宅・慢性期領域】

特定行為区分	特定行為	改正前 時間数	改正後 時間数
3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	21	8 + 5症例
8 ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	48	16 + 5症例
	膀胱ろうカテーテルの交換		
11 創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	72	26 + 5症例
	創傷に対する陰圧閉鎖療法		
15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	36	
	脱水症状に対する輸液による補正		10 + 5症例
合計時間（共通科目 + 区分別科目）		492時間 (100%)	<b>310 (63%) + 各5症例</b>

※ 経験すべき症例数は、行為の難度に応じて5例又は10例程度（通知別紙6）

# 特定行為研修の研修内容等に関する意見 概要②

医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会（平成30年12月14日）

## 【区分別科目：外科術後病棟管理領域】

特定行為区分	特定行為	改正前時間数	改正後時間数
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	22	9+5症例
2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	63	17+ 5×2症例
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
	人工呼吸器からの離脱		
3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	21	8+5症例
6 胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	30	13+ 5×2症例
	胸腔ドレーンの抜去		
7 腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿（セン）刺針の抜針を含む。）	21	8+5症例
9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	18	7+5症例
10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	21	8+5症例
12 創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	15	5+5症例
13 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	30	8+5症例
	橈骨動脈ラインの確保		
15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	36	10+5症例
	脱水症状に対する輸液による補正		
18 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	21	8+5症例
19 循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	60	
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		14+ 5×2症例
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		
合計時間（共通科目+区分別科目）		673時間（100%）	<b>365（54%） +各5症例</b>

## 【区分別科目：術中麻酔管理領域】

特定行為区分	特定行為	改正前時間数	改正後時間数
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	22	9+5症例
2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	63	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		17+ 5×2症例
	人工呼吸器からの離脱		
13 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿（セン）刺法による採血	30	13+ 5×2症例
	橈（トウ）骨動脈ラインの確保		
15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	36	
	脱水症状に対する輸液による補正		10+5症例
18 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	21	8+5症例
19 循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	60	
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		10+5症例
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		
合計時間（共通科目+区分別科目）		547時間（100%）	<b>316（58%） +各5症例</b>